

東日本大震災復興支援 JOC「がんばれ！ニッポン！」プロジェクト



オリンピックデー・フェスタ in 栗石



最後にみんなで集合写真！

2月4日、スポーツ振興くじ(toto・BIG)の助成を受けて、オリンピックデー・フェスタ(日本オリンピック委員会主催、読売新聞など協力)が、岩手県栗石町の栗石スキー場で開催された。この日を心待ちにしていたのは、地元や宮古市、釜石市などから集まった岩手県在住の小学生150人と8人の五輪経験者たち。ウィンタースポーツの聖地として知られる栗石で、子どもたちの笑顔が復興への道筋をつくっていく。



「オリンピックデー・フェスタ」の聖火が、栗石の地に灯された。



子どもたちのエネルギーから
元気をもらった。

2006年トリノオリンピック 金メダルほか合計8個のメダル
K・アンドレ・オーモットさん
(スキー・アルペン)

子どもたちからは、僕自身も元気をもらいました。本日のようなアウトドアイベントで楽しい時間を過ごすことは、子どもたちにとって、とても大切なことだと思います。



大人気のオーモットさん。そりりレーでは倒れたり、動かなかったりハプニングの連続！



今日の思い出が
心に残ってくれたら嬉しい。

2000年シドニーオリンピック 銅メダル
田中雅美さん
(水泳・競泳)

今回は18年ぶりにスキーにチャレンジしました。今日の思い出が子どもたちの心に残ってくれたら嬉しいです。「オリンピックデー・フェスタ」の聖火はつながる灯。人は一人じゃない。これからもまわりの人を大切にして、がんばってほしいです。

スポーツ振興くじ(toto・BIG)とは？

toto
FOR ALL, BEYOND OF LIBERTY

「スポーツ振興くじ」の助成金は様々なスポーツ振興に役立てられています。

助成は、平成14年度から開始。グラウンドの芝生化などスポーツを楽しむための環境づくり、地域で行うスポーツ教室や大会の開催、アスリートの育成等に充てられている。

BIG
ビッグ

これまでに、約403億円の助成を行い、日本のスポーツ振興に役立てられてきました。

「これまで自分たちを応援してくれただけに何ができることはないか。」オリンピックデー・フェスタは、五輪経験者たちのそんな強い思いが通じて、昨年10月10日体育の日(仙台と東松島をスタート。今回で9回目となる。)

雪が舞い降りる中、ファンファールとともに始まった開会セレモニーで、まずゲレンデから国際

子どもたちも真剣そのもの。声援の中、各チームのリーダーである五輪経験者にアンカーはゆだねられ大接戦となった。雪の少ない沿岸部から参加した子どもたちは、「かっこいい選手と会えて嬉しかった」「久しぶりに雪の中でたくさん遊べて楽しかった」と、笑顔いっぱいに答えてくれた。

公益財団法人 日本オリンピック委員会の青木剛常務理事は、「震災

スポーツから生まれる、笑顔がある。

語った。スポーツが果たす役割は大きい汗を流し、ひとつのことに集中することで心は解きほぐされ生きる力が湧いてくる。それは観る者にも伝わり、地域の力を生み、復興への懸け橋となる。

「オリンピックデー・フェスタ」は、今後も数年間にわたって継続する予定。復興への道程の中、聖火とともに人々の思いをつなげ、笑顔の輪を広げていく。



子どもたちの笑顔はまさに「ゴール」。

1984年サラエボオリンピック 銀メダル
ユーリ・フランコさん
(スキー・アルペン)

オリンピックで重要なのは、メダルをとることですが子どもたちと触れ合い、このような時間を持つことは僕にとってはスポーツより大切。子どもたちの笑顔はまさに「ゴール」です。

「オリンピックデー・フェスタ」とは？



開会セレモニーでゲレンデから滑り降りてきた五輪経験者と地元の子どもたち。

東日本大震災復興支援JOC「がんばれ！ニッポン！」プロジェクトの一環として、「スポーツから生まれる、笑顔がある。」をスローガンに開催。五輪出場経験者やアスリートたちが、被災地(青森県、岩手県、宮城県、福島県、茨城県を中心とした地域)の子どもたちと、運動会をイメージしたプログラムで体を動かす機会を作り交流を深める。



聖火とともに心の灯も
ともされ、つながっていく。

2008年北京オリンピック日本代表
小椋久美子さん
(バドミントン)

「オリンピックデー・フェスタ」の聖火とともに心の灯もともされ、日本がつながっていくことを実感しました。スポーツは笑顔をつくり仲間を増やし絆をつくる。これからもひとつでも多くの笑顔のために、みなさんといっしょにがんばります。



子どもたちを見送るリュージュの山口貴久さんたち。優勝したチームにはカップと、IOC国際オリンピック委員会からショルダーバッグが贈呈。



どんな時にもチームワークを
大切にしながらがんばってほしい。

1992年アルペールビルオリンピック 金メダル
三ヶ田礼一さん
(スキー・ノルディック複合)

勝敗は関係なく、今日はすばらしい運動会になりました。オリンピックでもチームワークが大切。子どもたちが協力し合う姿を見て、僕たちも励まされました。



左右に立てた旗を争奪する雪上フラッグでも大奮闘。